

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構  
統計数理研究所・理数系教員指導力向上研修会(香川Ⅰ)

新学習指導要領においては、算数・数学科で小学校から高校に至るまで統計内容が大きく拡充されています。その背景には、21世紀型スキルとして統計的問題解決力が国際的に重視されていることがあります。本研修会では、問題解決に必要な統計思考力・統計活用力とはどのようなものか、その育成のための授業のあり方など講師と参加者で考えていきます。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

1. 日時：平成25年2月9日(土) 12:30～18:30 ※受付12:10～
2. 会場：香川大学 教育学部 314講義室 (定員130名)  
※主に高等学校教員向け研修は、313講義室で実施
3. 対象：教員(主に小・中学校), 学生
4. 参加費：無料
5. プログラム

○開会挨拶……香川大学教育学部 教授 風間 喜美江

- (1) 『中学校授業例Ⅰ：QC的手法を用いた問題解決の授業実践～総合的な学習の時間を活用して～』  
……筑波大学附属中学校 教諭 中本 信子
- (2) 『中学校授業例Ⅱ：資料の活用「標本調査」における単元のデザインと実践について』  
……岩手大学教育学部附属中学校 教諭 佐藤 寿仁
- (3) 『中学校授業例Ⅲ：辞書の単語数調べを目的とした「標本調査」の授業実践』  
……東京大学教育学部附属中等教育学校 教諭 細矢 和博

休憩(14:45～15:00)

- (4) 『文科省・総務省後援 生徒参加型データ活用授業支援サイト「センサス@スクール」の  
小学校・中学校における活用例』  
……愛知教育大学 准教授 青山 和裕
- (5) 『小学校授業例Ⅰ：測ってまなぶ、折り紙を活用したデータと品質教材』  
……社団法人・日本品質管理学会TQE(Total Quality Education)特別委員会委員  
財団法人・日本科学技術連盟QCサークル上級指導士 前川 恒久
- (6) 『小学校授業例Ⅱ：分布に対する見方を育む算数の授業づくり  
～中学校「資料の活用」に繋げるために～』  
……聖徳学園附属小学校 教諭 川上 貴
- (7) 『問題解決のプロセスを意識した統計教育の必要性～統計グラフコンクールの活用～』  
……慶応義塾大学大学院健康マネジメント学科 教授 渡辺 美智子

○閉会挨拶……大学共同利用機関法人・情報・システム機構 統計数理研究所副所長 田村 義保

## 6. 主催・共催

主催：情報・システム研究機構 統計数理研究所

共催：日本統計学会統計教育委員会・統計教育分科会，香川大学教育学部，香川県算数教育研究会，  
香川県中学校数学教育研究会

7. 申込み メールでお願い致します。〆切2月7日(木) [kazama@ed.kagawa-u.ac.jp](mailto:kazama@ed.kagawa-u.ac.jp)

8. 問い合わせ先:香川大学教育学部数学教室 風間喜美江 E-mail: [kazama@ed.kagawa-u.ac.jp](mailto:kazama@ed.kagawa-u.ac.jp)

電話 087-832-1568

9. その他 お車の入場は12:00～13:30, 14:30～15:00のみ可能です。駐車場に限りがあり、複数の  
乗り合わせでご来校ください。大学正面入口で係の指示に従ってください。